

意見 より多くの市民の方に行き届くよう、更なる努力を求める。

◆請願第31号「国民生活の安全・安心を支える国の行政機関等の体制・機能の充実を求める請願書」

意見1 国家公務員は今でも相当数削減されており、これ以上削減すると、非正規職員ばかりが増える。人員削減を行なうならば、現在国が行なっている事業をもっと県や市などへ移行するべきであり、現段階で公務員の削減には反対であることから、この請願を採択すべきである。

意見2 道州制に関しては、国等において様々な議論が行われている状況であり、また、国民は行政組織のスリム化と合理化を求めていることから、これはやむを得ないのではないかと思うので、不採択とすべきである。

審査結果 不採択

◆請願第35号「伊方原発3号機の再稼働前に、30キロ圏内自治体の承認と、住民説明会を求める意見書に關

する請願書

意見1 9月定例会で議決された決定が市議会の意味であるので、不採択とすべきである。

意見2 住民の声を聞く機会を求めるのは議員として当然要求していくべきことである。請願の趣旨は、内容的に市民の不利になるものはなく、採択すべきである。

意見3 避難計画には実効性がなく、避難道路を確保してからの再稼働ならまだしも、再稼働を行ってから避難道路の整備は間違いであり、再稼働は時期尚早である。この請願を採択し

伊方発電所（伊方町）



議論を深めるべきである。

意見4 避難計画の実効性については、最初から完璧な避難計画は出来ないと思う。様々な訓練を実施しながら、課題を検証し、改善していくことで実効性が高まっていくと考えており、請願の趣旨に賛同できないので不採択とすべきである。

審査結果 不採択

厚生文教委員会

委員長 二宮 淳

◆学校等耐震化事業について

問 今回の補正予算が整備計画の前倒しとなった経緯と今後の見通しについて。

答 平成27年度末までに耐震化事業を実施する場合に利用できる有利な国庫補助金を活用することで市の財政負担を軽減でき、また、児童・園児のため少しでも早く耐震対策が完了できるように、今回予算計上させていただいた。整備計画では、今年度末で耐震化率68・1%、平成28年度末で72・2%と年度末での耐震化目標を立てており、事業

耐震補強及び大規模改修が予定されている河辺中学校屋内運動場



進捗が遅れないよう、できるだけ早く推進していきたい。

◆請願第27号「年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出を求める請願書」

意見1 年金を拠出しているのは国民である。その国民が資産を持つているというところで、国の借金が1,000兆円を超えても国債の信用がある。その国民の資産をリスクの高いものに運用してもらいたくないという思いがあるので、採択すべき。

意見2 年金積立金の運用

は、トータルで見る必要もあり、また、ガバナンス体制については改革案も出ているようなので、そういった状況を見る必要があるため、継続審査をお願いしたい。

意見3 被保険者の思いを考えれば、年金記録問題などにより不信感が募っている中で、今回8兆円近くの運用赤字との報道によりどうなるのかという怒りがあつたのではないかと思う。この請願の内容から見ても採択が望ましい。

審査結果 採択

◆請願第32号「地域医療を守るため病床の確保を求める請願書」

意見 病床数については、圏域の調整会議で医療需要と必要量を検討されており、この請願で言う病床の削減を前提としたものではない。

審査結果 不採択

◆請願第33号「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める請願書」

意見 介護職員が大変であることは理解できるが、利